

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	職員個々のレベルアップを図り、チームとして支援することの大切さが少しずつ浸透してきた。しかし、本人の気持ちを汲み取ったつもりになったり、本人の心配をするあまり、職員の思いを押し付けたりする傾向が、まだ見受けられる。	本人の気持ちや思いは本人に聞くのが一番良い事を理解する。 本人の気持ちを確認するための技術があることを知り、技術の習得を目指す。	「どうすればいいんだろう」と悩んだ時は、本人に確認してみるよう促す。うまく確認が取れない時は、他の職員と協力しながら、より良い方法を考えて、いろいろな方法を試してみる。 コミュニケーション技術の勉強会を企画、開催する。その際、基本的な知識と事例に合わせた検討会が出来るよう設定していく。 管理者は、全ての職員が実践経験を積めるようアドバイスを行うにとどめ、上手いかなかった時のフォローを行なう。	12ヶ月
2	18	グループホームは「我が家」であり、本人や家族が自由に生活を営む場所である事を、本人を含む全ての関係者が理解し、協力して支え合う必要がある。	で習得した技術を活用するため、本人、家族、関係者等とコミュニケーションをとり、実践経験を積む。		
3					
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。